

令和5年度 あわら市公民館運営審議会 第1回定例会議事録

1 開催日時 令和5年8月31日(木) 午前10時25分～午前11時55分

2 開催場所 あわら市中央公民館 多目的ホール

3 議事

- (1) 令和4年度公民館事業報告について
- (2) 令和5年度公民館事業計画について

4 出席者

(教育長) 甲斐 和浩

(審議会委員) 堀田あけみ(委員長)
宇都宮高栄(副委員長)
石谷 恵子
佐藤 康裕
見澤 泉
館 香織
川崎 俊一
藤井 正浩

(公民館長・事務局) 中央公民館長 山口 徹
伊井公民館長 東川 宏嗣
坪江公民館長 出村久仁男
劔岳公民館長 川崎雅一郎
細呂木公民館長 近藤 辰浩
吉崎公民館長 金津 裕之
湯のまち公民館長 島田 充寿
本荘公民館長 吉田 昭博
北潟公民館長 中田 治和
文化学習課長 早見 孝枝
中央公民館館長補佐 山本 昌明

5 議事の内容

- 文化学習課長 定刻になりましたので、ただ今より、令和5年度あわ
ら市公民館運営審議会定例会を開会いたします。
なお、見澤委員、本荘公民館吉田館長は都合により欠
席でございます。
最初に甲斐教育長がご挨拶申し上げます。
- 教育長 ～ 教育長挨拶 ～
- 文化学習課長 甲斐教育長は公務のため、これをもちまして退席とさ
せていただきます。ご了承のほど、よろしくお願い申し
上げます。
- 文化学習課長 続きまして、今回は第1回目の定例会ということので、自己紹介を行いたいと思います。堀田委員から各
委員、続いて各館長、事務局の順番でお願い致します。
～ 自己紹介 ～
- 文化学習課長 続きまして、あわら市公民館条例施行規則第4条に基
づき、委員長及び副委員長の互選を行います。今回は事
務局の提案で決定したいと思いますが、ご異議はありま
せんか。

(異議なしの声)
- 文化学習課長 異議なしとのことでしたので、委員長に堀田あけみ委
員、副委員長に宇都宮高栄委員に決定させていただきます。堀田委員長、ご挨拶をお願いいたします。
- 委員長 ～ 委員長挨拶 ～
- 文化学習課長 本日の審議会の傍聴希望はございませんでした。
また、会議録の作成及び公開が義務付けられておりま
すので、本会議は録音させていただきます。
なお、議事録の公開については、市のホームページに
て行いますが、発言に際しての委員の個人名は表記しな
いことを申し添えます。
では、これより先の議事進行につきましては、堀田委
員長にお願いします。

- 委員長 それでは、議事に入ります。
- 議事1「令和4年度公民館事業報告について」並びに、議事「令和5年度公民館事業計画について」は一括議事としたいと思います。事務局より説明願います。
- 事務局 ～ 事務局説明 ～
- 委員長 ありがとうございました。
- 只今の説明について、各館長の皆さんから補足説明または各館からの報告等ありましたらお願いします。中央公民館から順にお願いします。ただいまの説明について、委員の皆さまのご意見はありませんか。
- 中央公民館長 最近の利用状況の中で目立った傾向として、音楽室やレクレーション室を利用する中高生が増えてきている点があります。このことから、学校、地域及び公民館が一体となって公民館運営を進めていくことが重要であると考えています。
- 北潟公民館長 地域との関わりを重要視し、地域の特性を生かしたアウトドア教室等、地域の伝統的な食文化を知ってもらうことを目的とした魚さばき教室、地域の祭りとの連携などの単発講座を実施しています。
- 吉崎公民館長 本館は石川県加賀市との県境に位置しており、地域の小学校は休校となっていることから学校とのつながりは細呂木小学校と連携を図っています。本地域は世帯数が100世帯を切り、地区内人口が186名であり、そのうち約80名が65歳以上の方であり、高齢化が進んでいます。このようなことから公民館において定期教室や単発講座を実施しても参加が少ないのが現状です。しかしながら、4月22日に道の駅「蓮如の里」がオープンし、周辺で営業している民間のカフェや無料で利用できる県境の館もあり、人の流れは確実に増えていることから、地元区長や役員とも相談しながら活動を進めたいと考えています。本館には体育館がないことや高いところに公民館が位置しているため、高齢者にとっては来館することが体力的に厳しい現状もあることから、これらの課題を見据えながら運営していきます。
- 細呂木公民館長 本館は地域の団体とも密接に連携して運営していま

す。昨年実施した「ふれあい祭」は850世帯中620世帯がイベントの抽選に参加しています。本年度も区長会と連携しながら、バージョンアップして実施する予定です。本地区は地域の団体全てが協力して事業を行っています。公民館事業としては幅広い世代に来館してもらえるよう子供向け絵画教室や竹細工教室、小学生対象の事業も行いました。参加費も区長会で一部負担しています。男性向けの講座も実施しています。ヨガ教室も30代40代の参加が見られます。

劔岳公民館長

昨年度、施設の大改修を行い、使い勝手が良くなりました。特に小会議室の利用が多くなりました。本地区は7集落約210世帯、人口も約610人で定期教室の開催条件である5名以上を満たせずに中止としたこともありました。よって単発講座を充実させたいと考えています。隣接する森林組合が桜の植樹や稚魚の放流等の活動を行っています。また、地域の各種団体を取りまとめてイベント等を実施するなど公民館活動にも大きく寄与しています。地域的な資産として山林を活用したものがありますが、気軽に立ち寄るまたは親しむことが難しいことが課題であります。祭りはコロナ前の規模11月23日に実施を予定しています。

坪江公民館長

本館は南北に細長い地域であり、17地区で構成されています。地域の一体感を醸成する上で公民活動は重要であると認識しています。10月に祭りの開催を予定していますが、当該実行委員会においてコロナウイルス感染者数が再び急増していることから感染対策を優先し、規模を縮小して開催することが決定しています。本地区が北部、中部及び南部の3地区に分かれています。これまで以上にひとつの地区として一体感が深まるよう公民館運営を行っていきます。

伊井公民館長

新たな定期講座を開催するなど、地域の利用者のニーズを把握し、前年に開催した単発講座で好評であったものを定期講座とするなど常に講座の見直しを行いながら運営しています。自主クラブについては17団体が活動しています。本地区は地域との関わりは良好であり、公民館施設を積極的に活用してもらっています。祭りについてもコロナ禍も落ち着きを見せ、屋外ステージの設置

や模擬店の出店など盛大に実施することができました。

湯のまち公民館長

祭りについては4年ぶりに実施する予定で関係機関と調整を進めています。コロナ禍で企画したロビー展については年度末に発表する場として今後も継続していきたいと考えています。他館と同様、利用者の世代の偏りについて本館も同様の課題を抱えている中で様々な世代が参加しやすい内容はもとより開催時間についても勤労者の方々も考慮して夜または土日の開催を検討し、より参加しやすい環境づくりを心掛けることとします。親子向けの講座も実施します。他館では地域のコミュニティづくり貢献されていることから本館においても地域の方々に公民館を身近なものと感じてもらえるよう運営に努めることとします。方策のひとつとして2地区の区長会に対して公民館の取り組みについて説明を行いました。そうしたところ健康長寿の集いを本館で実施する運びとなりました。祭りについても区長会の後援がもらえないか調整しているところです。

委員長

只今の説明に対して委員の皆様のご意見はございませんか。

委員

単発講座について、男女の割合において女性が多いとのことだが、男性が参加したいと感じる内容又は実施方法になっていないのではないのでしょうか。

事務局

男性向けの講座が少ないことが原因のひとつであると考えられることから男性向けの講座をこれまで以上に増やしていきたいと思えます。近年は若い世代の利用も増えていることから、当該世代に対する講座の実施も検討していきます。

委員

過去に公民館を何か所か見学したことがあるが、施設によって工作室があったり調理実習室があったり、館によって提供されている設備が異なっています。男性は作業等を伴う講座にニーズがあると考えられるため、そういった講座を実施すれば男性の利用が増えるのではないですか。

北潟公民館長

本館においても男女の利用割合について同様の傾向があります。女性は公民館に集った利用者で交流をするこ

とを楽しんでいるように感じられます。男性は目的がないと来館しない傾向があります。このような状況を踏まえて、昨年10月から健康マージャンを定期教室として実施したところ、16名と積極的な参加がありました。

委員 地域性を考慮しながら、男性が気軽に立ち寄れる場所が提供できるよう今後、検討していただきたいと思いません。

細呂木公民館館長 単発講座として地元を題材とした歴史講座を開催したところ、26名の参加があり、全員が男性でありました。地域の各種団体とも協力しながらこのような講座を開催していきます。講師料は不要である申し出る講師もいることから、そういった方々の協力も得ながら男性向けの講座を開催していきます。9月1日から30分番組で神宮寺保存会の特集を福井ケーブルテレビで放送するのでご覧いただきたいと思いません。

委員長 講座の講師の選定についてどのように行っているのですか。

事務局 県内市町の公民館と情報交換を行うとともにクラフトマーケット等のイベントに参加して情報収集を図っています。

吉崎公民館館長 隣接する加賀市から情報収集を行うとともに地元で資格を持つ方や学校教諭の方々から情報を得て講師を選定しています。

北潟公民館館長 各館で情報交換を行うとともに館長自身も講師の依頼を行っています。講師料が原則5,000円としているため、当該額を上回る講師料の講師に依頼できず苦慮しています。また、現状では参加費を講師料に充てることができないことも課題と考えています。

委員 講師としての市内の人材発掘等も積極的に行っていただきたい。北潟の伝統文化であるどしゃどしゃ踊りの講座は行っていないのでしょうか。吉崎地区においては、人流が増える中で、それらを対象とした講座は実施できないのでしょうか。

北潟公民館館長 北潟どしゃどしゃ踊りと波松の民謡を小学校で指導し

ている。学芸員と祭りの歴史について協議しています。

吉崎公民館長

過去に公民館で活動している語り部の会で観光客を対象とした事業を行っていましたが、8人中2人しか活動していない状況につき、郷土歴史を公民館で行うことは難しいと感じています。

細呂木公民館長

公民館活動と地域の活動団体とは一線を引いており、活動団体から公民館に依頼があっても全てお断りしています。ただし、公民館活動については地域の活動団体に協力をしてもらっています。理由としては公民館活動と地域の活動の境界が不明確になってしまうためです。そういった関係でありながらも両者関係は良好な状態であります。

委員長

他にご意見はありませんか。ないようですので、議事1「令和4年度公民館事業報告について」並びに、議事2「令和5年度公民館事業計画について」は承認ということによろしいでしょうか。

(拍手多数)

委員長

今回の議事については全て承認されました。続きまして、その他に移ります。何かございませんか。

北潟公民館長

全国公民館会議と福井県公民館セミナーに参加した際、他市の公民館活動の発表と併せてコミュニティーセンターの活動事業の発表もありました。同時に発表されていることに疑問を持っています。近年は地域の自治会が人口減少等の理由から衰退し、地域のコミュニケーションが希薄化しています。坂井市では公民館をコミュニティーセンター化しており、全国的な流れとなっています。本市は公民館のコミュニティーセンター化はどのように考えているのでしょうか。

委員長

あわら市として意見はありますか。

文化学習課長

公民館のコミュニティーセンター化については市全体で検討する必要があるため、現時点で申し上げることはできません。令和元年度に法律で公民館をコミュニティーセンター化することが認められておりますが、本市ではこれから検討していくものと考えております。

委員 細呂木公民館では地域の団体が積極的に公民館を活用していることから、それらを参考に今後検討していくとよいのではないのでしょうか。

細呂木公民館長 現状として、公民館がコミュニティセンターとしての役割を既に担っているところもあります。理由として、区長（自治会長）は毎年変わることから地域の活性化事業が継続できないことから、10年前に歴代の区長が会員となって団体を設立しています。現実として公民館でできない事業は多くあり、公民館をコミュニティセンター化しても実施が難しい事業もあります。地域の団体が事業を拡大して運営が難しいところもあります。昨年の研修で富山県射水市金山地区のコミュニティセンターの発表があったので、細呂木地区区長会でワークショップを実施する予定です。地域活性化について公民館としても各地区区長会にアドバイスなどバックアップも必要ではないかと考えます。

北潟公民館長 坂井市三国町では様々な団体が活動しているが、活動の際に生じる事務処理に苦慮していると聞いています。事務処理を公民館がバックアップできれば良いと考えています。

委員長 各委員からもご意見をいただけますでしょうか。

委員 公民館内で飲酒の話があったが、昨年、公民館で全国規模の大会が開催された際に館内でお弁当などの飲食を認めてほしいと依頼したが、認められませんでした。公民館内における飲食のルールについて見直しを検討していただければと思います。

委員 小学生は地域と繋がっていると感じているが、部活動の地域移行が進む中で中高生が地域とどのように関わっていくかが課題と考えています。さきほどの意見で中高生が公民館を積極的に活用していることを伺い素晴らしいと感じています。今後も地域をあげて検討していただければと思います。

委員 初めて当会に参加させていただき、各公民館では様々な事業を実施していることや各館長が運営する上で様々な苦労があることが分かりました。自分たちの団体に

持ち帰り参考にさせていただきます。

委員 各館長が利用者や関係者の方々とコミュニケーションを図ることに苦慮されていると感じました。個人的に近年ではコミュニケーションの取り方について世代間の格差が広がっていると感じています。例えば会社の会議で集まった場合でも誰も発言をせず、パソコンを介してのみコミュニケーションをとるケースがありました。こういった世代が社会の中心になっている中、いかにしてそのような世代とコミュニケーションをとっていくが課題であると感じました。

委員 先ほどの話題にもありました公民館のコミュニティセンター化について今後、教育委員会部局および市長部局の垣根を越えてやっていく時代であると感じておりますので前向きなご検討をお願いします。

委員長 最後に事務局から何かございませんか。

事務局 次回の定例会は令和6年2月頃を予定しております。

委員長 以上で、本日の議事はすべて終了いたしました。円滑な議事の進行にご協力いただき、ありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しします。

文化学習課長 皆様には、ご審議いただきまして、ありがとうございました。副委員長、最後に閉会の言葉をお願いします。

副委員長 ～ 閉会の挨拶 ～

6 閉会の日時 令和5年8月31日（木）午前11時55分